(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 10日

滋賀県知事 殿

提出者

住 所 大阪府大阪市北区堂島1-6-20堂島アバンザ10階

氏 名 JFEシビル株式会社

建築事業部 関西支店 支店長 林 浩樹

電話番号 06-6344-7606

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	JFEシビル 株式会社 関西支店											
事業場の所在地	阪府大阪市北区堂島1-6-20堂島アバンザ10階											
計画期間	令和6年4月1日~令和7年年3月31日											
当該事業場において現に行	っている事業に関する事項											
①事業の種類	06 総合工事業											
②事業の規模	023年度売上高 34.9億円											
③従 業 員 数	関西支店在籍者 45名											
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	リテEシビル(株) 建設現場 中間処理業者 一 最終処分業者											
	再生利用											

(日本工業規格 A列4番)



自ら	行う産業廃棄物の再	生利用に関する事項		_
		【前年度(令和年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	_	
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 — t		— t
	①現状	(これまでに実施した取組)		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	_	
	@1 I	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 — t		— t
	②計画	(今後実施する予定の取組)		
自ら	っ行う産業廃棄物の中	間処理に関する事項	-	
		【前年度(令和 年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	_	
		自ら熱回収を行った		— t
	①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量 — t		— t
		(これまでに実施した取組)		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	<u> </u>	
	②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 — t		— t
		自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量 — t		— t
		(今後実施する予定の取組)		
1				

自ら	行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分に関す	る事項							
		【前年度(令和 年度)	実績】							
	①現状	産業廃棄物の種類	_	_						
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t						
		(これまでに実施した取組)								
		【目標】								
		産業廃棄物の種類	_	_						
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t						
産業	廃棄物の処理の委託に	関する事項								
		【前年度(令和 5 年度)								
		産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種	重類と排出量」のとおり						
		全処理委託量	t	t						
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t						
		再生利用業者への 処理委託量	t	t						
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t						
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t						
		(これまでに実施した取組)								
		電子マニュフェスト対応の委託処	理業者採用の推進							

(第5面)

			【目標】									
			産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり								
			全処理委託量	t	t							
	②計画		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t							
②書			再生利用業者への 処理委託量	t	t							
			認定熱回収業者への 処理委託量	t	t							
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t							
		(今後実施する予定の取組)										
		電子 優良	-マニュフェスト対応の委 ↓認定処理業者への処理委	京託業者採用促進 京託の推進								
※事務処理欄												

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了 するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書) 現状:前年度(2023 年度)実績量 計画:今年度(2024 年度)計画量

	116	<u> 国:今年</u>	- 及 (4	ZUZ4 ±	F度)計画量													単位:トン	/ 年	
	排出抑制に関する事 項 排出量 (前年度実績値の①)		自ら行う再生利用に 関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋に関す		夢 処理委託に関する事項									
			自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+ (8))		白り恋凹収でリノ		自ら中間処理により 減量する産業廃棄物 の量 (前年度実績値の⑦)		* ・		全処理委託量 (前年度実績値の⑪)		優良認定処理業者 への 処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への 処理委託量 (前年度実績値の②)		認定熱回収業者へ の 処理委託量 (前年度実績値の③)		認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量 (前年度実績値の値)	
産業廃棄物の種類	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥	480	300									480	300	0	100	480	280				
廃油																				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	7	5									7	5	0	0	7	5				
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず																				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず																				
鉱さい																				
がれき類	1208	1100									1208	1100	0	200	1208	1000				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
安定型混合廃棄物																				
管理型混合廃棄物	1. 04	5									1. 04	5	0	0	0	0				
合計	1696. 04	1410	0	0	0	0	0	0	0	0	1696. 04	1410	0	300	1695	1285	0	0	0	0

単位:トン/年